

共同利用施設の再編集約・合理化に関する事例【穀物、近畿農政局】

兵庫県 兵庫六甲農業協同組合（新基本計画実装・農業構造転換支援事業：R8～R9）

- 米のカントリーエレベーターについて**処理能力の増強**を図ることで**荷受状況を改善**し、生産者の**負担軽減**を図る。
- 処理能力の向上に伴い**高温耐性品種の作付拡大が可能**となり、生産者の**所得向上**に寄与する。
- 効率的な施設運営により、労働時間の削減と施設運営コストの低減につなげる。

現状・課題並びに再編集約等の内容

【産地の現状・課題】

- 酒造好適米・山田錦の産地でもありカントリーエレベーターの利用率が高いことから、収穫期に施設利用が集中し、**生産者の待機時間の長期化が課題**となっている。
- 本施設は、平成11年度農業生産体制強化総合推進事業により設立され27年が経過し**老朽化が進行**している。

【合理化の内容】

- 荷受施設の粗選機タンクを600kgから1,960kgに拡大する等、**処理能力を増強し効率的な施設運営を実現**する。
- 玄米品質向上のため、**色彩選別機の機能を向上**する。



再編集約・合理化等で期待される効果

- 処理能力の増強により、山田錦と収穫時期が重なる品種の導入が可能となる。このため、既存品種（キヌヒカリ）から高温耐性品種・多収性品種（にじのきらめき）への転換が促進され、1等米比率の向上による生産者所得の向上に寄与する。
- 生産者所得の向上により、農機導入資金余力ができることから、**産地の生産性向上が期待**できる。
- 効率的な施設運営により、**労働時間の削減と施設運営コストの低減が期待**できる。

他産地へのメッセージ

- 当組合管内の都市部地域は水田面積が減少傾向にあり、個人規模での乾燥処理施設維持が難しくなっている。このため、広域的に利用可能な共同利用施設が求められる産地の素地がある。
- 利用者からの合意形成を得やすくするため、当組合では荷受集中を緩和する大口奨励金の設定や平日利用奨励などを実施しており、共同利用施設のメリットを明示することに努めている。